

新(1) 広(2) 代(3)
規(4) 社(5) を(6) い(7) に(8) テ(9) 以(10)て

太(1) 長(2)

住(1)

仏(1)

は(1) て(2) も(3) 職(4) 話(5) い(6) は(7) そ(8) で(9) も(10) 自(11) 楽(12) せ(13) ど(14) も(15) 積(16) 込(17)

代表 [REDACTED] × ゲスト 加納 竜

石の魅力を人々に伝播し、たくさんの幸せを届ける

縁あって、天然石・宝石の卸問屋で働くようになった[REDACTED]代表。鑑定士として30年の経験を持つ人物に師事し、知識とノウハウを蓄積してきた。その後、同業での起業を決意し、[REDACTED]を立ち上げ、[REDACTED]オープンする。經營者となってからは、当時曖昧だった石の品質・価格帯などのグレードを明確化したことに加え、まとめ売りが主流だった販売方法をバラ売りに変えた代表。「品質と適正価格」をモットーに、顧客のニーズに沿った多種多様な石を充実させ、顧客数を伸ばしてきた。現在ではパワーストーンの販売にも力を入れている。今後については「事業を大きくするより、より多くの人たちに石の良さを知ってもらい、悩みなどを持つ人の一助となりたい」と語ってくれた。誠実な仕事を徹底する代表の今後から、目が離せない。



(2016年1月取材)

代表取締役 [REDACTED] × ゲスト 板東 英二

[REDACTED]する熱意が美味しい料理の隠し味！

[REDACTED]において、[REDACTED]運営する[REDACTED]。安価かつ美味しい料理を提供しており、豚トロ定食やチキンカレーなどは、[REDACTED]店舗の中でも、上位に入る人気ぶりだ。同社の[REDACTED]出身といふこともあり、地方から上京して[REDACTED]を従業員と共に応援している。また、「これまで貢献したい気持ちで頑張ってきた」と話す社長。「これまで周囲の人々に恵まれ、応援していただけたからこそ、今の私があるのです」と感謝の言葉を続けた。きっと、自身がこれまで歩んできた経験も相まって、[REDACTED]くなるのだろう。

その姿からは、人情味溢れる社長の人柄が窺える。そんな社長は、これからも事業を通じて、[REDACTED]でサポートしていく構えだ。



(2016年1月取材)

代表 [REDACTED] × ゲスト 村野 武範

無農薬栽培のブルーベリー摘みが人気の観光農園

「JA」を定年退職した後、思うところがあり果物栽培をはじめようと思い至った[REDACTED]様々な果物を選択肢として挙げる中で、無農薬栽培が可能なブルーベリーを選んだ。そうして[REDACTED]を立ち上げ、コンパニオンプランツや自然由来の害虫忌避剤を活用しながら、徐々に栽培規模を広げていく。そんな代表が主事業として力を入れているブルーベリー摘みは、栃木県内外から多数の人々が訪れるほどの人気だそうで、来客の大半がリピーターか紹介で来た新規顧客だという。この話からは、いかに同園のブルーベリーが人々から愛されているかが窺える。そして現在では、ジャムやジュースなどの加工品販売も手掛けるようになった同園。代表は今後も、より一層美味しいブルーベリーづくりに励まんとする意欲を示していた。



(2015年12月取材)

代表 [REDACTED] × ゲスト 志垣 太郎

周囲との絆を大切に歩み続けてきたりんご農家

りんご栽培を営む農家に生まれた[REDACTED]学業修了後すぐに家業に入った。以降、先代である父親と共に日々の業務に精を出す中で、たくさんの人たちに美味しいりんごを届けてきた。そして現在では、りんご農園と先代がオープンした食堂を守りながら、議員も務めると多忙な毎日を送っている。オープンから約40年以上経っているという食堂は、地域住民やドライバーに長く愛され続けてきたそうだ。調子の良し悪しはあれど今まで歩んでこられたのは、アットホームな雰囲気を意識し、来客を家族のように大切にもてなしてきたからだろう。また、代表は何よりも信頼を大事にしており「信頼できる人たちが周りにいれば、それだけで最高の人生になる」と考えている。今後も、その考え方を重ねずして代表は、周囲との絆を紡いでいく。



(2015年12月取材)